

子供たちが  
待っています

令和2年度実施  
仙台市立学校  
教員採用選考  
募集案内

仙台市  
単独採用

仙台で叶える  
あなたの夢

仙台市教育委員会



# 先生になる夢を 仙台で叶えよう

「子供たちと充実した毎日を過ごしたい。」  
「教員として人生を歩んでいきたい。」  
その夢を『学びのまち・仙台』で叶えてください。

子供たちは  
「楽しく学びたい。」  
「たくさん遊びたい。」  
「いろいろな話をしたい。」  
期待しながらあなたを待っています。

## 〇〇 求める教員像 〇〇

### たくましい 精神力

教育者としての高い  
倫理観と使命感、情  
熱を持ち続ける教員

### 豊かな人間性

人間味にあふれ、児  
童生徒・保護者・地域・  
同僚との関わりを大  
切にし続ける教員

### 確かな指導力

専門性や実践的な指  
導力の向上を目指  
し、学び続ける教員



私たちは、誰もが楽しみながら学び、自らの心の豊かさにつ  
なげていくために、多様な学びの場をつくり、市民の力を幅広  
く生かしていくことが必要だと考えています。また、未来を担  
う子供たちや若者の学びを支え、社会に羽ばたく力を育むこと  
により、まちの活力につなげたいと考えています。

その実現に向けて、仙台の教育の姿「人がまちをつく  
り、まちが人を育む『学びのまち・仙台』」に取り組  
んでいます。



## 教職員の資質・力量の向上



→ 3 ページ

## より子供と向き合う 体制をつくる

## 教員の働き方改革について



→ 5 ページ

## 豊かな心を育む

いじめ防止・不登校対策の  
推進を図るとともに、互いを  
理解し思いやる心  
を育む取組を推進  
しています。



→ 6 ページ

## 未来の創り手と なるための力を育む

自ら学ぶ意欲を持ち、人や  
社会との関わりを大切にしな  
がら、将来の社会的・職業的  
自立に必要な態度と能力を育  
んでいます。



→ 7 ページ

## 確かな学力を育む

学習意欲を更に高めると  
ともに、基礎的知識・技能の  
確実な習得と応用力  
の育成を図って  
います。



→ 9 ページ

## 震災の教訓を生かした 防災対応力を育む

自分の命を守り、安全を確保  
する自助の力、災害後の対応  
や地域の復興に  
参画する共助の力  
を育んでいます。



→ 10 ページ

## 健やかな体を育む

食育や体力の向上、心身の  
健康の保持増進などに関する  
指導を展開し、望ましい食習慣、  
運動習慣、生活習慣の確立を  
目指しています。



→ 11 ページ

## 多様なニーズに 対応した教育の充実

障害のある子供たちのみならず、共にこれからの共生社  
会を形成していく  
全ての子供たちの  
ために特別支援教  
育を推進してい  
ます。



→ 12 ページ

## 地域とともに歩む学校づくり





# フレッシュ先生 1 年次研修から学んだこと

仙台市では、採用 4 年目までの教員を「フレッシュ先生」と呼び、4 年間の初任者研修（フレッシュ先生研修）を実施しています。採用 1 年目の先生対象の「フレッシュ先生 1 年次研修（以下、フレ研）」について、3 人のフレッシュ先生から話を聞きました。

ファシリテーター

千田 博史<sup>所長</sup>

仙台市教育センター

教員は、子供の成長から力をもらえる仕事です。

学校は、毎日笑いが絶えない職場です。

力を注いだ分、子供たちが返してくれます！

永野 慎太郎<sup>先生</sup>

大和小学校 教諭  
平成 31 年度採用  
仙台市出身

岩淵 美里<sup>先生</sup>

富沢中学校 教諭  
平成 30 年度採用  
仙台市出身

移川 恵理<sup>先生</sup>

仙台高等学校 教諭  
平成 31 年度採用  
仙台市出身

## 子供たちの「声」から喜びとやりがいを実感

**千田**：教員になる夢を叶えたフレッシュ先生のみなさんは、仙台市の学校で様々な経験をされていると思います。あらためて「教員になってよかった。」と感じたエピソードを教えてください。

**移川**：私は高校の地理の授業で外国の魅力を教えていただき、「私も子供たちに外国の魅力を伝えたい」という思いから、教員を目指しました。世界中の様々な国を紹介した授業後に、生徒から「行きたい国が増えて困ってしまいます。」と感想が寄せられたときは、とてもうれしかったですね。

**岩淵**：教員 2 年目の私は、昨年度中学校 2 年生の担任をしました。教員 1 年目で大変なこともありましたが、3 月に女子生徒から「先生の初めての生徒になれてよかったです。」と心温まる手紙をもらい励みになりました。

**永野**：講師だった 3 年間を含め、小学校で特別支援学級の児童を教えています。昨年度に担当していた 6 年生児童が、卒業後に「僕、部活動で初めて 1 勝したんだ。」と電話で報告してくれたんです。職員室にいたにもかかわらず、その場で「やったあ！」と大声で叫んでしまいました。



## フレ研で感じた「不安解消」と「仲間意識」

**千田**：仙台市では、採用 1 年目の教員を対象にフレッシュ先生 1 年次研修を行っています。これまで学んだ内容でどんなことが印象に

残っていますか？

**永野**：やはり「宿泊研修」ですね。会場になる泉ヶ岳は、小学校の野外活動でも利用されていますが、フレ研での登山や野外活動は、「大人だけで行くこと」に独特の面白さを感じました。

**岩淵**：5 年目の先輩教員との「児童生徒理解に関する協議」はとても参考になりました。先輩教員との意見交換を通して、

「先輩も同じ不安や悩みを抱えていたんだ。」と安心することができました。同じ苦勞を乗り越えて先輩教員の今があることを、直接知ることができてよかったです。

**千田**：5 年目の先生との研修のねらいは、岩淵先生のように「一人で悩まなくてもいいんだ。」と若い教員に気付いてもらうことにあります。

**永野**：それなら、私も教育センターの思惑に見事にはまった一人です（笑）。

**千田**：高校では、今年から仙台市単独の「高等学校等フレッシュ先生研修」が始まりました。移川先生が参加されていますが、感想を聞かせてください。

**移川**：はい。仙台管区気象台や荒浜小学校震災遺構などの施設見学が印象的でした。本物に触れることで、私が知らなかった新しい知見を得たり、疑問を解消したりすることができました。

**千田**：仙台市には科学館や天文台など専門的な知識を学ぶことができる施設がたくさんあります。こうした仙台市ならではの研修プログラムで、さらに知見を広げてほしいですね。



## 頼もしい同期の先生が存在

**千田**：フレ研では、同期や先輩教員などたくさんの仲間との出会いがあったかと思います。みなさんが仲間と共に学んだことについて教えてください。

**移川**：市立高校の教員研修は 11 人で行われています。少人数で行う様々な研修は、同期の教員全員で仲間意識を持ち、県の研修とは違った充実感を得ることができます。

**岩淵**：昨年度にフレ研を通して、たくさんの同期の教員とつながりを持てたことに心強さを感じました。特に宿泊研修で一緒にグループだったメンバーの数人とは、1 年以上経った今でも月に一回ほど会って近況報告をしています。「みんな頑張ってるな。」と感じることで、次の日への元気をもらっています。

**永野**：私も同期の存在はすごく大きいと思っています。フレ研は、同年代の教員同士が気軽に悩みを共有し、アドバイスをして励まし合える貴重な時間です。先輩教員からも、「元気だった？」「久しぶり。」と声を掛けていただき、聞き上手な先輩教員との会話に、ほっこりできるのがうれしいです。

**千田**：みなさんありがとうございました。



## 千田所長からのメッセージ

フレ研は、教員に必要な力量・資質を高める場であるとともに、子供たちへの想いや仕事の悩みを共有できる仲間づくりをする場でもあります。**教育センターではこれからも充実した研修を整え、若い教員が安心して子供と向き合えるように全面的にバックアップしていきます。**



## フレッシュ先生をサポート

## 研修の概要

仙台市では採用時から 4 年間にわたる仙台市独自の初任者研修を実施することで、研修内容の充実や同期の教員と一緒に学ぶ時間の確保につなげています。また、5 年目の先輩教員がフレッシュ先生のサポート役を担い、さらなる研修の充実が図られています。

いさと  
舟岡 勇人<sup>指導主事</sup>

フレッシュ先生研修担当

### フレッシュ先生プレ研修

初任者として赴任までの心構えや準備について学ぶ研修

### フレッシュ先生 1 年次研修

教育公務員及び学校組織の一員としての自覚をもち、児童生徒理解に努め、授業づくりに必要な力量を身に付けるための研修

（平成 31 年度研修の例）

- ・社会人としての常識・マナー
- ・学級担任の実務
- ・学習指導案の検討及び模擬授業
- ・震災復興と教育
- ・野外活動の実際 など

### フレッシュ先生 2・3・4 年次研修

授業づくりの基礎基本の一層の習得・改善と教員としての基盤の充実を図る研修

### 5 年次ブロック研修

新任教員の良き相談相手となって協議や授業づくりに取り組み、資質向上を目指すとともに、先輩教員としての使命感を新たにす研修

### 新規採用 養護教諭研修

養護教諭としての基礎的および専門的な知識の習得と、職務についての理解を深める研修

### 新規採用 栄養教諭研修<sup>※</sup>

食に関する指導のリーダーとして、学校や地域の中心的役割を果たす資質や能力を養うための研修

<sup>※</sup>学校栄養職員としての職務経験により、上記以外の研修を受講することがあります。

教育センターでは、このほかにもキャリアアップを目指す教員のために多種多様な研修を実施しています。

こちらの QR コードから詳しい内容をチェック  
<http://www.sendai-c.ed.jp/02kensyu/kensyu.html>





より子供と向き合う  
体制をつくる

## 教員の 働き方改革 について

本校は、平成31年4月に開校した新設校です。この春から学校の様々な事柄について現場の教員と一緒に考えてきました。「教員の働き方」もその一つ。私は、「教員が輝いてこそ、生徒がきらめく。」との思いから、抜本的な働き方改革を進めています。

### 教員と共に進める 錦ケ丘中学校のチャレンジ

校務分掌や会議、学校行事の目的、そしてあり方について、一つ一つ慎重な議論を重ねて精査してきました。

その結果、職員会議で提案される内容について事前に検討する運営委員会を廃止、全職員で学校行事などについて話し合う職員会議を隔月ペースで年7回に削減、校務分掌の整理を行うなどの取組を試行しています。また、これらの取組により、従来の職員室機能や教員間の情報共有が損なわれないように、ショートミーティングを奨励しています。

仙台市では、中学校運動部の適正な活動のあり方の観点から、週2回以上の休養日を設けています。

本校では十分な休養と部活動時間の確保のため、毎週火曜日は部活動をなくし7校時限の短縮授業とし、毎週水曜日を午前授業にして、午後は部活動や自主学習を中心とした「錦タイム」としました。

錦タイムの新設により、毎週火曜日と水曜日は下校時刻の延長がなくなることで教員

「教員はとても忙しい。」と不安を抱いている人も多いはずです。そこで、「教員の働き方改革」について、錦ケ丘中学校の佐藤淳一校長から同校で進めている先進的な事例と仙台市での取組について話を聞きました。

は退勤しやすい環境になります。各教員は、2日のうち定時退勤をする日を決めて職員室の予定表に名前を貼り、その日は必ず定時に退勤するようにしています。今では、この時間を習い事に使うなど個人の資質向上に役立てる教員も出てきました。

### 仙台市のさらなる 教育環境の充実に期待

仙台市では、職務に関する情報を共有したり、児童生徒の成績を管理したりできる校務支援システムを全市立学校で運用しています。ICTの活用により、学校間や教員同士の情報共有が図りやすくなるとともに、ペーパーレス化による資料の印刷、製本、配布の時間が無くなり、負担軽減につながります。

タイムカードの設置は、教員の「時間の意識化」につながっています。本校の定時退勤推進の取組との相乗効果で、教員の時間を調整するスキルの向上なども期待できます。

令和元年度から全ての市立学校に順次エアコンの設置が予定されています。エアコンは、生徒にも教員にも大変ありがたいもの。特に、夏の授業環境の大幅な向上につながると期待しています。

そのほかにも、35人以下の学級編制や給食費の公会計化による事務負担の軽減、部活動の外部指導者活用など、仙台市では様々な教員の働き方改革が進められています。これから教員を目指すみなさんもし是非、夢を叶え一緒によりよい職場環境をつくり、共に子供たちの学びを支えていきましょう。



## 特別の教科 道徳 に取り組む

### 話し合うことで 相手を理解し認め合う

仙台市では、答えが一つではない道徳的課題を、一人一人の児童が自分自身の課題と捉え、向き合う「考え議論する道徳」となるよう授業の質的転換を図ってきました。

南光台小学校6学年を担当する菊谷先生



菊谷先生をもっと  
知りたい方は  
Check!



「ここにこの木」に貼られたシールは、あいさつができた証

は、道徳の授業を通して気付いたことを過去の自分と比べたり、これからの生活にどう生かしていくかを考えたりすることを大切に授業を心掛けています。「学ばせたいことが教員からの一方的な押し付けにならないように、児童と一緒に考える姿勢を大切にしています。」と話すように、授業の中で話し合い活動を充実させています。大勢の中では意見が言えない児童でも、話し合いのシチュエーションを変えることで、意見が言いやすくなるようペアでの話し合いを導入しています。

### 異学年交流で あいさつの定着を図る

特別活動主任の菊谷先生は、互いを認め合う心を育むために、誰にでも笑顔であいさつできる関係を築くことを大切にしています。ある日、「上級生や下級生のことはよく分からないので、あいさつをしにくい」と児童から言われました。そのことがきっかけになり、異学年交流にも力を入れています。

朝の活動として、異学年と一緒に遊ぶ時間を設けています。下級生は上級生と楽しく遊ぶことができ、上級生は下級生に喜んでもらえるよう、一生懸命に準備しています。活動を通じて、自然にあいさつを交わせるようになり、笑顔で1日をスタートできるようになっています。

取組を紹介！

## 学びの応援団

### 法律のアドバイザー

スクールロイヤー

スクールロイヤーとは、学校が直面する様々な課題への対応について、児童生徒の権利を守ることを前提に助言を行う弁護士のことです。仙台市では、学校からの相談に加え、いじめの予防に向けた授業モデルの監修も務めるなど、法律の専門家の立場から学校現場をサポートしています。



校内研修会の講師も務めます

# 心

「学びのまち」の情熱先生  
児童生徒の  
豊かな心を育む

主な取組

道徳教育の推進

福祉教育・人権教育の推進

情報モラル教育の推進

スクールカウンセラーの配置

スクールソーシャルワーカーの派遣

いじめ防止「きずな」キャンペーン

自死予防教育の推進

いじめ・不登校対応支援チームの学校巡回

いじめ防止マニュアルの作成



心の取組をもっと知りたい方は  
Check!

菊谷先生の

キャリアデザイン

1年目 ● 小規模校で3年生を担当。何もかも手探りででした。

現在

5年目 ● 初任校から異動して2年目。特活主任として学校全体を動かす難しさに直面。

10年目 ● もっと子供たちの成長を支えられる教員になりたい。

今後の目標は？  
これまでの経験を、これから入る後輩教員に伝えられるように頑張ります。



# 未来

「学びのまち」の情熱先生

児童生徒が未来の創り手となるための力を育む

主な取組

職場体験活動

仙台自分づくり夢教室

仙台子ども体験プラザ

たくましく生きる力育成プログラム

案学プロジェクト

市立高校進路指導支援事業

インターンシップ推進事業

未来の取組をもっと知りたい方はCheck!

橋本先生のキャリアデザイン

1年目

分かりやすい授業を目指して腕を磨く。

5年目

文化財課に異動して2年目。遺跡の発掘調査や出前授業に取り組む。

10年目

学校現場に戻って3年目。担任する学級だけでなく、学年全体に貢献できるように努力。

現在

12年目

今後の目標は？  
学校をはじめ、仙台市の教育全体に携わる現場で活躍したいです！

## 仙台自分づくり教育に取り組む

### 職場体験活動をイベントで終わらせない

職場体験活動は、中学生が実際の仕事に触れたり勤務する人々と接したりできる貴重な機会です。橋本勇人先生が勤務する宮城野中学校でも、2学年の生徒が3日間の職場体験活動に取り組んでいます。

「生徒にとって3日間の『体験』で終わることなく、その後の学校生活や進路選択に生かすための『経験』となることが大切です。」

そのために、事前・事後の学習の充実にも力を入れているといいます。

「事前学習として百貨店から講師を招いて、あいさつやお客様への対応などについて講話をいただきました。また、今後どんな力が必要で、どんなことに取り組むべきかを自分で考える振り返りの時間をきちんと設けています。」

### 全ての生徒にスポットライトを当てる

日頃の授業や学級経営で活用しているのが、仙台市で作成した「たくましく生きる力育成プログラム」授業プラン集です。その

橋本先生をもっと知りたい方はCheck!

宮城野中学校 教諭  
橋本 勇人 さん

平成 20 年度採用・加美町出身

中で設定されている、育むべき5つの力の中で、「うごく力」を特に意識していると話します。

「生徒が『〇〇したい』と思ったことを、実際の行動へと移せるように、教員がそっと背中を押してあげるような仕掛けを考えています。」

また、生徒が取り組んだことや感じたことなどを日記に書いてもらい、丁寧にコメントを返しています。素晴らしい意見や頑張った行動は学級通信に掲載しています。「自分の頑張りがクラスメイトや保護者からも認められることで、自己肯定感が高まります。その自信を『うごく力』の源にしてほしいですね。」と橋本先生はエールを送ります。

取組を紹介！

学びの応援団

プロから実際の仕事を学ぶ

子ども体験プラザ企業ボランティア

児童生徒が社会の仕組みについて体験しながら学ぶ施設「仙台子ども体験プラザ」にある企業ブースには、その企業の社員がボランティアスタッフとして体験活動をサポートします。働くことの意義や心構え、仕事に必要なマナーや接客のスキル、機器の扱い方などについて、本物の企業人の立場から細やかにアドバイスします。

### たくましく生きる力を育む 仙台自分づくり教育

仙台市では児童生徒が自ら学ぶ意欲を持ち、人と社会との関わりを大切にしながら、将来の社会的・職業的な自立に必要な態度や能力を育むことをねらいとした仙台版キャリア教育「仙台自分づくり教育」を推進しています。各学校では授業や活動の中に積極的に取り入れています。

仙台自分づくり教育では、児童生徒が将来自立するために必要な「うごく力」「みつめる力」「かかわる力」「みとおす力」「いかす力」の5つを「たくましく生きる力」に設定し、その育成に向けた様々な取組が各学校で進められています。

### 実際の仕事に触れ 「働くこと」を考える

生徒に対して望ましい勤労観や職業観を育み、自分の将来について主体的に考える力を身に付けさせるため、仙台市では全ての市立中学校で3～5日間の職場体験活動を実施しています。小学校でも「働くこと」と「生きること」を題材とした体験活動や職業講話、地域の職場訪問などに取り組んでいます。

平成26年にオープンした「仙台子ども体験プラザ」は、児童生徒が社会の仕組みを体験しながら学ぶ施設です。実在する企業や団体の店舗や事務所、市役所などのブースがあり、仮想のまちを再現。その中で仕事や消費活動の模擬体験や1ヵ月の生活設計体験を行うことで、将来設計に必要な資質や能力、社会で自立するための勤労観や職業観を養っています。

中学生の職場体験活動の様子

## 中等教育学校・高等学校のキャリア教育

### 教科横断的な学びを通して 広い視野で進路を考えさせる

「中等教育学校の強みは、小学校卒業後の6年間を同じ学校で一貫した指導をできることです。進路選択においても、生徒は将来どんな職業に就くかを念頭に置きながら、大学などへの進学を目指しています。」と仙台青陵中等教育学校の阿部悠人先生は説明します。

生徒の発達段階に応じたアプローチを心がける阿部先生は、「本校では、英語や国語でディベートを取り入れたり、社会科で時事問題について取り上げたりしています。教科の授業の中でも、進路決定や社会人になるために必要なスキルを、生徒が段階的に身に付けられるように意

仙台青陵中等教育学校 教諭  
阿部 悠人 さん

平成 31 年度採用・福島県二本松市出身

識しています。」と話します。

目標の大学に進学することがゴールではなく、生徒がより長期的な視点で進路を考え選択していけるように、幅広い知識が身に付く授業づくりに取り組んでいます。

### 進路希望の達成と 社会的・職業的自立を目指す

先生たちをもっと知りたい方はQRコードから！

仙台商業高等学校 教諭  
片岡 剛 さん

平成 15 年度採用（宮城県）・大河原町出身

くことを大切にしています。」と話します。

生徒のほとんどが仙台市立中学校の出身だと話す片岡先生。「中学校での『仙台自分づくり教育』を通して思い描いた自分の将来像の実現のため、様々な後押しをするのが高校教員の役割だと思っています。」と話します。

また、同校では商業高校ならではの手法で職業観を育てています。その一つが、商品の企画開発の取組で、地域課題解決を目的とした商品やサービスのアイデアを生徒が考えています。

「部活動で商品開発に向けて取り組む生徒もいます。実践を通して得た経験やスキルを進路選択に生かしてほしいですね。」と思いを語ります。

7

8



# 学力

「学びのまち」の情熱先生  
児童生徒の  
確かな学力を育む

主な取組

- 幼保・小の連携
- 小1生活・学習サポーターの配置
- 標準学力検査・生活学習状況調査
- 小・中の連携
- 小学校理科学習の充実
- 少人数指導の実施
- 放課後等を活用した補充学習
- 学力サポートコーディネーター派遣
- 学習意欲の科学的探究に関するプロジェクト
- 確かな学力研修委員会での提案授業・レベルアップ研修

学力の取組をもっと知りたい方はCheck!

## 確かな学力の育成に取り組む

### 話し合い・教え合いを通してクラス全員の理解が深まる

「授業ではグループワークを多くし、生徒同士が話し合ったり、教え合ったりする場面を意識して取り入れています。そのことにより学び合いが活発になり、クラス全員の理解が深まると考えています。」と中田中学校で理科を担当する瀬川実果先生は説明



瀬川先生をもっと知りたい方はCheck!



瀬川先生の  
キャリアデザイン

- 1年目** 震災の翌年に教員デビュー。被災校で生徒との関わり方に悩む日々。
- 5年目** 初任校から異動して2年目。環境が変わり、教員としての幅が広がる。
- 現在**
- 8年目**
- 10年目** 生徒の未来をさらに見通せる教員になっているはず。

今後の目標は？  
生徒からも後輩教員からも、頼られる教員になりたい!



確かな学力研修委員会での教材開発の様子

## 取組を紹介！ 学びの応援団

### 歴史・文化に触れるチャンス

文化財課では、伝統や文化に関する教育の充実を図るため、学校と連携し郷土の文化財の活用を推進しています。出前授業では、経験豊かな文化財専門職員や文化財教諭が、講師として学校を訪れ、身近な遺跡から出土した土器や石器などの実物資料や映像資料を活用した授業を行っています。



文化財課出前授業

します。

生徒がグループワークに主体的に取り組むことで、自分の考えを整理して、相手に分かりやすく説明する。分かっている生徒は分からない生徒に理解してもらえるように、簡単な言葉を使ったり表現を変えたりするなど工夫するようになります。そして生徒同士で学び合うことでクラス全員の理解が深まると考えています。

### 理科教員同士で授業改善について検討

また、理科の授業では、生徒の興味関心が高まるように、学ぶ事柄を自然現象や日常生活で起こる事象に置き換えて説明しています。理論を身近な事象と結びつけることで理解しやすくしています。

例えば、露点について教えるときには、冬に窓ガラスが結露する事象と関連付けます。日常生活で“なぜ？”と疑問に感じたことが学習を通して解決していくことにより、科学的に探究する力を身に付けられるようにしています。

「日常生活の事象との関連付け」の重要性を実感したのは、授業改善を検討する「確かな学力研修委員会（中学校理科）」の委員としての活動がきっかけでした。異なる学校から選ばれた4人の理科教員と授業プランや教材などについて意見交換や授業改善に向けての話し合いを行い、実践につなげています。

## 仙台版防災教育に取り組む

### 地域とともに歩む学校 地域理解で防災意識を高める

学校の防災教育で学んだことをより実践的な力にしていくためには、学校が地域と共に防災教育を行っていく必要があります。

防災を中心としたまちづくりが盛んな片平地区にある片平丁小学校の木村慎吾先生は、「片平地区の防災の取組に、児童が関心を持ち自ら地域の防災について考える活動を仕掛けていきたい。」と話します。地域に関する様々な発見は、地域に対する関心につながります。また、自分が住む地域で起こりうる災害を予測し、取るべき行動を考えることで防災対応力も身に付いていきます。児童が大人になってからもその力を地域の防災に役立ててほしい、そのためには、小学生の時から、地域のコミュニティと深く関わらせていくことが大切だと考える木村先生は、自ら地域活動に参加しています。

### KYTを取り入れ 防災意識の習慣化に取り組む

学校生活の様々な場面で危険予知トレーニング（KYT）を取り入れていると言



片平地区の防災訓練の様子

## 取組を紹介！ 学びの応援団

### 3.11の記憶を今に伝える

震災遺構荒浜小学校

東日本大震災による津波が2階まで押し寄せた校舎のありのままの姿と被災直後の写真展示などにより、津波の威力や脅威を実感できる震災遺構として一般公開しています。防災・減災の意識を高める場として、学校教育や教員研修などにも活用されています。



4階展示室  
「荒浜の歴史と文化・荒浜小学校の思い出」



木村先生をもっと知りたい方はCheck!



# 防災

「学びのまち」の情熱先生  
児童生徒の  
防災対応力を育む

主な取組

- 仙台版防災教育の推進
- 防災教育に係る研究推進取組発表
- 仙台版防災教育副読本「3.11から未来へ」の作成
- 児童生徒による故郷復興プロジェクト
- 復興ソングの継承

防災の取組をもっと知りたい方はCheck!

木村先生の  
キャリアデザイン

- 1年目** 震災の翌年、被災校に着任。国内外からの支援に触れ、教職の責任を実感。
- 6年目** 不登校支援活動への参加。社会教育主事の資格を取得。
- 現在**
- 8年目**
- 10年目** 学校・家庭・地域をつなげ、全体を見て動ける教員になる!

今後の目標は？  
先輩たちのようなステキな学年主任になりたいです。



# 体

「学びのまち」の情熱先生  
児童生徒の  
健やかな体を育む

## 食育・健康づくり に取り組む

### 学校給食で望ましい 食習慣の定着を図る

南中山中学校で栄養教諭を務める佐藤みどり先生は、「理想的な食習慣を提示しつつも、各家庭の生活リズムに合わせて生徒がバランスを考えた食事を、毎日続けられるようアドバイスを心掛けています。」と話します。全生徒が同じ献立を食べる学校給食の時間は、栄養のバランスを考えた食事や残さず食べることの大切さを学び、生徒同士で共有できる貴重な時間だと言います。

中学校を卒業すると、昼食を自分で用意することが増えていきます。生徒たちが給食の時間や食育の授業で学んだことを手本にして、望ましい食習慣を身に付けたり自分の健康のために苦しい食べ物を克服したりできることを強く願っていました。



その日の給食の献立と栄養バランスを示す  
給食用栄養黒板

### 学級担任や家庭と連携し 児童の健康を見守る

「生活習慣病や感染症の予防、心の健康、メディアとの関わり方など、子供たちが学ぶべきことはたくさんあります。その中でいかに児童の日常生活に沿った指導ができるかが重要です。」

そう話すのは新田小学校で養護教諭を務める山田紗花先生。「健康課題や必要な保健指導は、児童によって異なります。児童の生活実態を知るためには、学級担任との連携や家庭の理解と協力は欠かせません。」

そこで、「保健だより」による保護者に向けた情報発信を積極的に行っていると言います。「学校・家庭・地域が一体となり、子供たちの健やかな成長を見守っていくことが、理想の形だと思っています。」

大人になっても健康に生きるための礎を築くため、児童の健康課題と向き合い、実態に即した保健指導に取り組んでいます。



歯磨き指導の様子

## 「交流及び共同学習」 に取り組む

### 一人一人の実態に合わせ 段階的な指導を行う

鶴谷特別支援学校では、日常生活の指導や遊びの指導、生活単元学習や自立活動など様々な学習が行われています。小学部1年生の学級担任を務める佐藤友宙先生は、「1年生は、学校での集団生活が始まり、戸惑うことがたくさんあります。学校生活の流れを理解できるような言葉かけや視覚的な情報



交流活動の様子

の活用を心がけ、段階的にできることを増やしていく指導を行っています。」と話します。

本人のできること、それに対する教員の働きかけは、児童によって様々です。教員が一人一人の実態を把握し、的確な目標を設定することで適切な指導や支援ができると考えています。

### 交流及び共同学習を通して 相互理解を深める

仙台市では、共生社会の実現に向けて、相互理解を深める取組を行っています。全ての市立学校において実施されている障害のある児童生徒の「交流及び共同学習」はインクルーシブ教育システムの推進に効果的な取組です。

佐藤先生は、「本校の低学年部の児童は、近くの保育園と交流しています。園児とのふれあいは、児童にとってよい刺激となっているようで、ボウリング遊びや手遊びなどを楽しむ様子に手ごたえを感じています。」と話します。

また、住んでいる学区の学校で同年代の子供たちと一緒に活動する「居住地校交流」は、子供たち同士がお互いを理解し合うことができる有意義な活動となっています。「児童にとって、日常の学校生活では経験できない貴重な機会です。交流する小学校の児童が積極的に関わってくれることに感謝しています。」と笑顔で話します。

## 取組を紹介！ 学びの応援団

### 特別支援教育の担い手を支える

#### 特別支援学級パワーアップサポート

特別支援学級の学習指導や学級経営などに関する専門家が、特別支援学級の担任に対し指導・助言を行う取組です。授業づくりや学級経営、指導計画の作成、就学支援など幅広い分野をカバーし、特別支援学級の担任が求める様々なニーズに応えています。



「学びのまち」の情熱先生  
多様なニーズに  
対応した教育を充実する

#### 主な取組

特別支援学級指導支援員・  
特別支援教育指導補助員の配置

特別支援教育介助員の配置

看護師の配置

特別支援教育  
実践研究協力校

特別支援教育コーディネーター  
養成・向上研修

外国人子女等  
指導協力者の派遣

多様の取組を  
もっと知りたい方は  
Check!

#### 佐藤先生の キャリアデザイン

1年目 東京都の教員に採用。授業づくりに追われる毎日。

6年目 故郷の仙台市に戻り、講師をしながら正規採用を目指す。

8年目 仙台市の教員に採用。特別支援学校で教員の仕事の奥深さを実感する。

現在  
10年目

今後の目標は？  
どんな時でも子供たちと向き合える、子供目線の教員でありたいです。

#### 主な取組

望ましい食習慣・  
生活習慣づくりの推進

体力の向上を目指した  
運動の日常化の推進

児童生徒の体力・  
運動能力向上推進

学校における食育の推進

規則正しい生活習慣の  
確立に向けた支援

健康相談の充実に向けた支援

体の取組を  
もっと知りたい方は  
Check!

#### 山田先生の キャリアデザイン

1年目 仙台市有数の大規模校に配属され、必死に児童の名前を覚えしました。

5年目 自ら課題を見つけてチャレンジしたいと思っています。

10年目 保健指導や救急処置など知識と経験を深めて、子供たちに安心感を与えられるような養護教諭になりたいです。

今後の目標は？  
自分の心にも余裕が持てるように、日々研さんを重ねていきたいと思っています。



## 小学校

小学生は、精神面・身体面ともに人としての基礎が出来上がる時期。各教科の授業で基礎的な理解を図り、考える力を養います。また豊かな情操や生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を培います。



### 菊谷先生の ある1日

- 6:00 起床
- 7:50 学校到着
- 8:50 1-4時限目
- 12:25 給食
- 13:25 5-6時限目
- 15:30 職員会議
- 16:30 休憩
- 17:00 教材研究
- 19:00 退勤
- 23:00 就寝



### 小さな成長に喜び 大きな成長に驚く日々

小学校の学級担任は、クラスの児童と一日中過ごすので、日々のちょっとした成長も感じることができます。また、過去に担任した児童が、大きく成長した姿を見て驚くことができるのも、6年間で共に過ごす小学校教諭ならではのことだと思います。

6年生になると学校のリーダーの自覚が芽生え、下級生の手本となるような言動を意識します。児童が発する言葉や態度に成長を感じることができると、教員としてやりがいを感じることができます。



### 山田先生の ある1日

- 6:00 起床
- 8:00 学校到着
- 8:10 保健室対応・校内巡視
- 9:00 健康観察簿の確認
- 12:30 給食
- 13:00 保健室対応
- 15:00 学級担任と打ち合わせ
- 16:00 休憩
- 16:30 日誌の作成
- 17:30 退勤
- 23:30 就寝



### 元気になった児童の笑顔に 元気をもらうことができる

小学生の間は、健康に対する意識や生活習慣の基礎をつくる、とても大切な時期です。あどけない表情の児童が、集団生活を通して様々なことを吸収して心身共に成長する。そんな場面に立ち会えることに養護教諭の魅力を感じます。

体調が優れなかったり、悩みを抱えて元気がなかったりした児童が、手当てや声掛けで元気を取り戻し、一生懸命学習に取り組む姿を見るとうれしいです。「先生、治ったよ!」の一言に、私自身が励まされています。

## 中学校

中学生は、自己の生き方についての考えを深め、進路などの選択をする時期。教科ごとの授業では基礎的教養を養い、物事を考える際の応用力を育みます。また、部活動や委員会活動などを通して、個性を伸ばし、互いに協力しながら活動することの大切さを身に付けさせます。



### 教員の期待以上に頑張る 生徒の姿に感激

中学校教員は、思春期に差しかかる子供たちと関わるができることが魅力です。生徒が目標に向かって本気になって取り組む姿を思い描きながら、「どうしたらハートに火をつけることができるのか。」を考えるとところが醍醐味だと思います。

時には私が想定していた以上の行動をしてくれることも。ある日、清掃指導の際に教室のごみ拾いを徹底させた後、通学途中に道端でごみを拾う生徒の姿を見た時は驚きました。私たちの期待以上に頑張る姿に感動しました。

### 橋本先生の ある1日

- 5:00 起床
- 7:30 学校到着
- 8:50 1-4時限目
- 12:55 給食
- 13:40 5-6時限目
- 16:00 休憩
- 16:15 部活動指導
- 18:30 退勤
- 22:00 就寝



### 「食」を通じて生徒の 成長を支える充実した毎日

中学校では、心も体も大きく変化する時期を迎え、たくましく成長していく生徒を食の面で見守り、正しい食習慣の定着に導くことができる充実感を味わうことができます。

普段はちょっと背伸びをして大人ぶっている生徒が、無邪気に給食を食べている様子を見るとホックリします。また、食育の授業に興味を持って聞いてくれていた時もうれしいです。日々の献立作成や教材研究の努力が報われたと栄養教諭としてやりがいを感じることができます。

### 佐藤先生の ある1日

- 6:00 起床
- 8:00 学校到着
- 9:00 給食の調理指導
- 12:55 給食指導
- 13:40 食育の授業
- 14:30 休憩
- 15:00 残食量集計  
納品書チェック
- 16:00 献立作成・  
教材研究
- 19:00 退勤
- 23:00 就寝



## 中等教育学校

中等教育学校は、小学校卒業後の6年間を一貫して教育する学校です。生徒は、高校入試のない6年間を独自に編成した計画的・継続的な教育課程に基づき、人間的な成長を図りながら広く学習し、幅広い知識と教養の習得を目指します。



### 阿部先生の ある1日

- 6:00 起床
- 7:30 学校到着
- 8:45 1-4時限目
- 12:30 給食
- 13:10 5-7時限目
- 16:00 休憩
- 16:20 部活動指導
- 18:30 教材研究
- 19:00 退勤
- 23:00 就寝



### 子供から大人になる前の 6年間で共に過ごすことができる

中学校と高等学校に相当する6年間という長いスパンで、生徒の成長に携わることができるのが中等教育学校で働く魅力です。日頃から生徒の心の変化を見逃さず、生徒の目線に立って考えることを心がけています。

学習や部活動、受験勉強などの中で、生徒の様々な目標達成に向けた努力が実を結んだ瞬間に立ち会い、喜びや感動を共有できた時に、「教員になって本当によかったな。」と私自身も大きな達成感を抱くことができます。

## 高等学校

高等学校は次代を担う社会人として必要な資質を養い、現代社会の様々な変化に的確に対応できる生徒の育成を目指しています。生徒一人一人に対して、自分の興味・関心や目指す進路に則した主体的な学習を促し、それぞれの個性を最大限に伸ばす教育を行います。



### 片岡先生の ある1日

- 5:30 起床
- 7:45 学校到着
- 8:50 1-3時限目
- 11:40 昼休み
- 12:10 4時限目
- 13:00 休憩
- 13:20 5-6時限目
- 15:15 進路相談
- 17:30 部活動指導
- 19:30 退勤
- 23:00 就寝



### 苦手を克服した時に 見せる笑顔にやりがいを感じる

高校生は社会に出る直前の時期です。自分の将来と向き合いながら、学習や部活動に本気で取り組む生徒たちと日々向き合えることにやりがいを感じています。部活動では、様々な中学校から集まった仲間と高校の名前を背負い、共に闘う姿に感動します。

学習面で苦手としていた分野を克服できた時、部活動でできなかったプレーを習得した時、生徒は素直に喜びをぶつけてくれます。多感な高校生の素の姿に直面できるのも、高等学校教諭ならではの魅力です。

## 特別支援学校

支援が必要な児童生徒の心身の調和的な発達を図り、健康でたくましく生きる力を身に付けさせることを目指しています。常に教職員のチームワークを大切にし、児童生徒一人一人の障害の状況や発達段階、特性等に応じた適切な教育を行います。



### 教職員が一丸となって 児童の成長を支える

一人一人の児童により丁寧に関わることができるのが、特別支援学校教諭の魅力です。特別支援学校は基本的に複数の教員で学級担任を受け持ちます。さらにほかの学級の教員や作業療法士、理学療法士、看護師などとチームプレーで児童生徒の支援・指導を行っています。

児童が今までできなかったことができるようになってほめてあげた時、最上級の表現で喜びを伝えてくれます。その瞬間に立ち会えることが教員として最高のやりがいだと思っています。

### 佐藤先生の ある1日

- 6:00 起床
- 7:30 学校到着
- 9:00 スクールバス到着
- 10:30 午前中の授業
- 11:45 給食
- 13:20 午後の授業
- 14:50 児童生徒下校
- 15:05 休憩
- 15:50 職員会議  
授業準備
- 18:00 退勤
- 23:00 就寝



### 児童の成長を 「長く」「深く」 見守り続ける



### 大人になっていく生徒の 心の成長に 携わることができる



木村先生、瀬川先生のインタビュー内容も専用サイトに掲載しています。



# 教員採用選考概要

## 仙台市単独採用について

給与負担などの権限が宮城県から仙台市に移譲されたことを受け、平成30年度採用（平成29年度実施）より仙台市が単独で採用選考を実施しています。第1次選考の筆記試験は宮城県と同日になっているため、出願の際はご注意ください。

## 採用実績（令和2年度採用候補者名簿登載者数）

| 小学校教諭 | 中学校・高等学校教諭※1 | 高等学校教諭※2 | 養護教諭 | 栄養教諭 | 合 計 |
|-------|--------------|----------|------|------|-----|
| 150   | 98           | 6        | 5    | 3    | 262 |

### 【受験年度内採用について】

採用候補者名簿に登載された仙台市立学校講師を年度内に同校教諭として任用するなど、4月1日を待たずに正規採用する場合があります。

### ※1 中学校・高等学校教諭名簿登載者数の教科別内訳

| 国  | 社  | 数  | 理 | 音 | 美 | 保体 | 技 | 家 | 英  | 合計 |
|----|----|----|---|---|---|----|---|---|----|----|
| 13 | 14 | 15 | 9 | 4 | 5 | 14 | 5 | 5 | 14 | 98 |

### ※2 高等学校教諭名簿登載者数の教科別内訳

| 地歴 | 理科 | 工業 | 合 計 |
|----|----|----|-----|
| 3  | 2  | 1  | 6   |

中学校・高等学校教諭は、原則として中学校教諭としての任用となります。ただし、本人の希望や免許状の所有状況を考慮して、高等学校・中等教育学校教諭として任用する場合があります。また採用後の人事異動において、校種間の異動を行うことがあります。

## 加点措置について ※加点の資格条件は変更になる可能性があります。

仙台市では、特別支援教育及び小学校外国語（英語）、中・高外国語（英語）に関する高い専門性を有する教員を採用するために、一定の条件（教員免許状や英語資格などの所持\*）を満たす方の第1次選考の得点に対して、出願時の申請により加点措置を実施しました。

全名簿登載者の22.5%が特別支援に係る加点を受けています。また、小学校名簿登載者の11.3%、中・高外国語（英語）名簿登載者の28.6%が英語に係る加点を、それぞれ受けて合格しています。

## 選考内容（令和元年度実施選考の例）

### 第1次選考

- 筆記試験1（専門教養）
- 実技試験（必要な教科のみ実施）
- 筆記試験2（教養）
- 適性検査

### 第2次選考

- 教育実践力面接
- 個人面接1
- 個人面接2

第1次選考【筆記試験】の問題、正答・配点は「仙台市市政情報センター（仙台市役所本庁舎1階）」で公開しています。閲覧（無料）及びコピー（有料）が可能です。

## 待遇・福利厚生

### 初任給

平成31年4月1日現在

|          | 小・中学校    | 高等学校、中等教育学校<br>特別支援学校 |
|----------|----------|-----------------------|
| 大学院（修士）了 | 255,559円 | 255,670円              |
| 大 学 卒    | 229,694円 | 229,694円              |
| 短 大 卒    | 206,344円 | 203,488円              |

### 福利厚生

採用と同時に公立学校共済組合員となり、健康保険・厚生年金に加入するほか、給付事業（病気、災害、結婚、出産時などの給付金）・貸付事業（一般、教育、住宅、結婚などの貸付）・検診事業（人間ドックや各種がん検診受診）などを利用できます。

※その他、健康づくりのためのセミナーなど各種事業があります。

※上記の額は給料・教職調整額・地域手当・義務教育等教員特別手当を含みます。

### 勤務条件

- 勤務時間：1週間に付き38時間45分
- 休 日：土曜・日曜、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
- 休 暇：年次有給休暇（年間20日間）、病気休暇、特別休暇、介護休暇など

### お問い合わせ先

## 仙台市教育局 教育人事部教職員課

〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目5番12号 上杉分庁舎14階

TEL: 022-214-8873 MAIL: kyousai\_sendai@city.sendai.jp

仙台市教育委員会ホームページ  
「仙台市立学校教員採用情報」

仙台市教員採用選考

検索

※常勤講師及び非常勤講師も随時募集しています。



## 選 考 スケジュール

令和2年4月中旬

実施要項の公表

4月中旬～5月中旬

電子申請による  
出願受付

7月下旬

第1次選考

会場：仙台市立の学校及び  
東京会場を予定

8月下旬

第1次選考結果発表

9月中旬

第2次選考

会場：仙台市教育センター

10月下旬

第2次選考結果発表

令和3年1月

採用予定者  
事前説明会

2月下旬

フレッシュ先生  
プレ研修

令和3年4月1日

採 用